



## Official TEST Report 2012/3/20～21 FUJI 2<sup>nd</sup> Official test

フォーミュラ・ニッポン 2012 シーズン前としては最後となる、第 2 回公式テスト富士。  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、第 1 回公式テストでの好感触をもって、万全の態勢で開幕戦へ向けて最終調整に入った。

気温は平年より低めながら、2 日にわたって安定した晴れの天気恵まれ、祭日であった 20 日は、多くファンが富士スピードウェイを訪れ、甲高いエキゾーストノートから今シーズンの幕開けを体で感じたようだ。

鈴鹿公式テストの結果を踏まえ、多岐にわたるテストプログラムを準備したチームは、1 日目のテスト第 1 セッション開始早々精力的に周回を重ねる。

空力関連のデータ収集とセットアップの確認を主眼に置きながらも、伊沢選手は 3 番手、塚越選手は 7 番手のタイムを記録した。

2 日目は、レースシミュレーションやピットストップの確認から予選アタックまで、実践シミュレーションから、多岐にわたるセットアップの確認と熟成を行った。

2 日間を通して、常に上位に名を連ねた両ドライバー。特に伊沢選手は第 1 セクター、第 2 セクターで常にトップタイムをリードする。しかし、第 3 セクターではトップにわずかに届かない。結果、伊沢選手は わずか 100 分の 4 秒差の僅差ながら 3 番手、塚越選手は 0.6 秒差の 9 番手で、テストを終えた。

### 40 : 伊沢拓也 選手 (20 日 3 位、21 日 3 位 、総合 3 位)

シーズン中に出来ない様々なトライをすることができ、有効なデータを得ることができました。2 日間を通して内容はよかったです、差は小さいながらもトップで終えることができませんでした。

速いところ、遅いところがはっきりとしていて、最終的には 100 分の 4 秒差ながらこの遅い部分を克服できなかったことがトップとの差だと思っています。この部分は昨年から続いているところですから、結果をよく解析し、2012 シーズンへの準備を整えます。

### 41 : 塚越広大 選手 (20 日 7 位、21 日 9 位 、総合 9 位)

伊沢選手とともに、それぞれ分担して様々なテストができました。

しかし、全体的に上手くいったとは言えず、車をまとめきれませんでした。

色々なトライをして、見つかった答えもあれば、新たな課題も多いと感じています。

今回結果をチームと共に検証し、かつ シーズンを進めていく中での開発も精力的に続けます。開幕戦鈴鹿に向けては自信充分です。自分自身の準備もしっかりとしてシーズンに臨みます。